

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 09 12	中期総合計画主要施策番号	3-05	担当課	部・課	健康福祉部 障害者支援課
事業名	総合リハビリテーションセンター運営事業			内線	2385	
				E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S23 ~	根拠法令等	長野県立総合リハビリテーションセンター条例			
実施方法	県が直接実施					国庫・県単 国庫補助事業・県単独事業

  

事業の概要等	目的 (必要性)	・潜在、残存能力を最大限生かしつつ、医療から自宅生活復帰・職業訓練まで一貫したリハビリテーションサービスの提供を必要に応じて行い、障害があっても安心して地域で生活できるようにする。				
	対象	・身体障害者等				
	目指すべき姿	・センターでの手術、診察、介護、身体機能訓練及び生活訓練等の支援を通じて、身体障害者等の就労を含めた地域生活への移行を目指す。				
	事業内容	・総合リハビリテーションセンターの管理運営 ・障害者支援施設運営 （施設入所支援、生活介護、機能訓練、生活訓練、就労移行支援） ・補装具製作施設運営 ・病院運営 （病床数80床、整形外科、内科、神経内科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科）				

  

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・需用費(医薬材料費、光熱水費等) 504,300千円 ・委託料(医療機器保守、医事事務委託等) 65,411千円 ・使用料(システムリース代等) 68,493千円
	最終予算額 (A)	千円	904,052	751,132	856,405	
	決 算 額 (B)	千円	868,474	729,050		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	0	0	0	
	概 算 人件費	人	137.00	137.00	131.00	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	2,007,903	1,860,396	1,938,203	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・手術件数 (H21:612件 H22:662件 H23:560件) ・病床利用率 (H21:71.3% H22:77.8% H23:74.3%) ・補装具製作修理件数 (H21:435件 H22:554件 H23:535件) (効率指標 算出式) 概算事業費 / (施設利用者数 + 入院患者数)
	施設入所者の家庭復帰割合(成)	%	80.9	75.0	80.0	
	1日平均施設利用者数(活)	人	51.8	53.9	60.0	
	1日平均入院患者数(活)	人	60.3	57.6	60.0	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 施設利用者・入院患者	千円 / 人	49.1	45.7	44.3	

  

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価				評価区分
	・センターでの手術、診察、介護、身体機能訓練、生活訓練等を通じて、就労を含めた地域生活への移行を目指し支援していく。 (就職、復職、在宅生活など、家庭復帰者の割合を80%以上とする。)	・家庭復帰者の割合は、80.9%であった。(そのうち13.9%が復職・就職を果たしている。)以上から、概ね期待どおりであった。				<b>b</b> 期待どおり

  

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・施設部門において、利用者数がやや減少傾向にある一方で、脳血管障害や高次脳機能障害などの新たな分野への支援ニーズが高まっている。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・業務の見直し・点検をはじめ、先進的プロジェクトの展開、経営の効率化への対応などについて、H23年度まで現行の「新経営推進プラン」に沿って取り組んでいたが、このプランの成果を踏まえ、H24年度を初年度とする向こう3年間の新たな経営計画となる「第二次経営推進プラン」を策定した。今後は、このプランを積極的に推進するとともに、定期的にプランの進捗(ちよく)管理を行う。				
	特記事項					